

資料-2 チェックリスト

【A】 学習面の質問

お子さんの名前 : _____

記入者の名前 : _____

記 入 日 : _____

	ない	まれに ある	ときどき ある	よくある
1. 聞く < > 点				
聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き間違える）	0	1	2	3
聞きもらしがある	0	1	2	3
個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	0	1	2	3
指示の理解が難しい	0	1	2	3
話し合いが難しい（話し合いの流れが理解できず、ついていけない）	0	1	2	3
2. 話す < > 点				
適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口である）	0	1	2	3
ことばにつまったりする	0	1	2	3
単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする	0	1	2	3
思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	0	1	2	3
内容をわかりやすく伝えることが難しい	0	1	2	3
3. 読む < > 点				
初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える	0	1	2	3
文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする	0	1	2	3
音読が遅い	0	1	2	3
勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）	0	1	2	3
文章の要点を正しく読みとることが難しい	0	1	2	3

	ない	まれに ある	ときどき ある	よくある
4. 書く < > 点				
読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない）	0	1	2	3
独特の筆順で書く	0	1	2	3
漢字の細かい部分を書き間違える	0	1	2	3
句読点が抜けたり、正しく打つことができない	0	1	2	3
限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書けない	0	1	2	3
5. 計算する < > 点				
学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい（三千四十七を30047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている）	0	1	2	3
簡単な計算が暗算でできない	0	1	2	3
計算をするのにとても時間がかかる	0	1	2	3
答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい（四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算）	0	1	2	3
学年相応の文章題を解くのが難しい	0	1	2	3
6. 推論する < > 点				
学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい（長さやかさの比較。「15cmは150mm」ということ）	0	1	2	3
学年相応の図形を描くことが難しい（丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図）	0	1	2	3
事物の因果関係を理解することが難しい	0	1	2	3
目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい	0	1	2	3
早合点や、飛躍した考えをする	0	1	2	3

*判定基準はP. 12にあります

【C】対人関係やこだわり等の質問

最もよく当てはまるところに○をつけてください

	いいえ	多少	はい
大人びている ませている	0	1	2
みんなから、「〇〇博士」「〇〇教授」と思われている (例：カレンダー博士)	0	1	2
他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている	0	1	2
特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない	0	1	2
含みのある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉通りに受けとめてしまうことがある	0	1	2
会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある	0	1	2
言葉を組み合わせて、自分だけにしか分からないような造語を作る	0	1	2
独特な声で話すことがある	0	1	2
誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す (例：唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶ)	0	1	2
とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある	0	1	2
いろいろなことを話すが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない	0	1	2
共感性が乏しい	0	1	2
周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言うってしまう	0	1	2
独特な目つきをすることがある	0	1	2
友達と仲良くしたいという気持ちはあるけれど、友達関係をうまく築けない	0	1	2
友達のそばにいるが、一人で遊んでいる	0	1	2
仲の良い友人がいない	0	1	2
常識が乏しい	0	1	2
球技やゲームをする時、仲間と協力することに考えが及ばない	0	1	2
動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある	0	1	2
意図的でなく、顔や体を動かすことがある	0	1	2
ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある	0	1	2
自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる	0	1	2
特定の物に執着がある	0	1	2
他の子どもたちから、いじめられることがある	0	1	2
独特な表情をしていることがある	0	1	2
独特な姿勢をしていることがある	0	1	2
合計	() 点		

*判定基準はP. 15にあります

被験者名	評価者	評価日	月	日
------	-----	-----	---	---

ADHD RS-IV 日本語版

ない、もしくは
ほとんどない

 ときどき
ある

 しばしば
ある

 非常に
しばしばある

1. 学校の勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
2. 手足をそわそわ動かしたり、着席していてもじもじしたりする	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
3. 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
4. 授業中や座っているべきときに席を離れてしまう	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
5. 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
6. きちんとしていなければならないときに、過度に走り回ったりよじ登ったりする	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
7. 指示に従わず、またやるべき仕事を最後までやり遂げない	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
8. 遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
9. 課題や活動を順序だてて行うことが難しい	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
10. じっとしていない、または何かに駆り立てられるように活動する	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
11. 精神的な努力を続けなければならない課題(学校での勉強や宿題など)を避ける	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
12. 過度にしゃべる	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
13. 課題や活動に必要なものをなくしてしまう	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
14. 質問が終わらないうちに出し抜けてに答えてしまう	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
15. 気が散りやすい	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
16. 順番を待つのが難しい	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
17. 日々の活動で忘れっぽい	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3
18. 他の人がしていることをさげすんだり、邪魔したりする	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3

ADHD RS-IV 日本語版ガイド/プロープ(参考)

	0 ない、もしくは ほとんどない	1 ときどきある	2 しばしばある	3 非常にしばしばある
行動の頻度	ほとんど見られない または報告されない	・日によっては ・ときどき ・ときどき監督が必要	・ほとんどの日 ・ほとんどの時間 ・時々"良い"日がある ・ときどき監督が必要でないときがある	・毎日 ・ほとんどいつも、またはいつも ・常に監督が必要
障害の程度	障害なし	・弱～中程度の障害 ・他の子供より多いいくつかの状況で ・保護者は"重み"に耐えられる ・家族のQOLには最小限の影響	・全ての状況で中程度の障害 ・保護者にとって重大である ・家族のQOLが損なわれる ・家族介入はある程度の効果あり	・全ての状況で重い障害 ・保護者、家族にとって重大である ・家族のQOLが大きく損なわれる ・家族介入は効果なし
同年齢の子どもの比較	変わらない	・いくらか違う ・質問はされるが、積極的な回避はほとんどされない	・目だって違う ・同輩/大人からいくらか避けられる	・非常に違う ・子どもおよび/または大人(親類)から好んで避けられる